

標本棚

私と年賀状

JICA専門家 田原雄一郎

私の木版画の年賀状歴は、もう四十五年ぐらになります。中学の時、



美術クラブの先生がクラブ員に「いい版画」ではなく、木版画を指導されたのが始まりです。

毎年、苦労するのはテーマです。子供達が小さい頃は良くモデルにしました。干支や風景も良く刷りました。

私は透水彩絵具での多色刷りが好みます。最近では目の衰えをカバーするのにヘッドルーペのお世話になっていきます。同好の志も沢山で、毎年楽しみます。

医療法人協仁会小松病院 院長 谷 荘吉

元木貢社長との付き合いは、すでに四半世紀を越えていよう。いろいろな面で、彼から教えられたことが

沢山ある。ユニークな発想の重要性もその一つだ。今は、新しい着想のもとに、会社社長としての手腕を發揮している。

「年賀状特集」をやりたいたいという。

(財)日本環境衛生センター 常務理事 田中 生男

恐らく高校の頃からだと思ふ。版画の年賀状を送るようになった。題材を蝶にすることが多い。刷り上げりの大変さから、ここ数年手掛けないのが残念である。

ある年、地方の知人から、その土地の名産が届いた。添え状には「あなたの年賀状が我が家のコンクールで優勝しましたので、記念品を贈ります」とあった。版画仲間も出来る。忘れられないうちに、また、版画状を送る時間が出ることを楽しみにしている。



義孝書

日の丸をメインポールへ

長野オリンピック選手団団長 八木祐四郎



今でこそ、冬季オリンピックに対する国民の関心は、夏のオリンピックに勝るとも劣らぬものがあるが、全日本スキー連盟の理事、専務理事を三十五年間勤めてきた私にとっては、文字通り「継続は力なり」を貫き通してきた結果だと実感している。

一九八六年、現在の全日本スキー連盟の堤義明会長から「夏に比べ、冬季競技はいつも置き去りにされている。日の丸一本を掲げることを考えてくれ」という命題を与えられた。しかし、二年後の一九八八年のカルガリーは散々たる成績。私の力では不可能かも」と辞意を表明したところ、堤会長から「二年ぐらいで分かるはずがない。もう四年好きなようにやってみろ」と励まされ、少

私と富士

品川プリンスホテル副支配人 沖 進

私が育った長野の善光寺平は、周囲を山に囲まれ、一年を通し、季節の移り変わりが素晴らしい。学生時代、北信五山(妙高・黒姫・斑尾・戸隠・飯綱山)に登って以来、北アルプスに憧れ、毎夏、山の自然を満喫していた。

リュックの中には、いつもカメラがあり、感動した高山植物、雷鳥の親子などの小動物を撮し、その写真を友人と見ながら次回の山行計画を話し合い、楽しい一時を過ごした。当時の写真技術は夢中で写るだけ。最近、ようやく写真の奥の深さが少し分かってきた。そんな時、忍野村での富士山に出会い、感動した。富士の虜になり、一年間に十数回通っている。同じ場所、時間でも、皆、表情が違う。ある時、夜明け前目的地に

数精鋭主義に徹し、かつてない充実した強化体制で臨み、一九九二年のアルペールビルでは、待望の日の丸を一本、メインポールに掲げることが出来た。実に札幌オリンピックから二十年目であった。



「運も才能のひとつ」と言われるが、すべての物事が幸運に展開しなければ、このようなことは起こらない。何よりも成功するため重要な要素は「人」であることを改めて認識した。

スキーに最もご遺詔の深い三笠宮寛仁親王殿下からは、「NSCジャパン・ジャーナル」にご寄稿された紀行文の中で、賞賛のお言葉を賜わった。我々にとって殿下のお言葉は何ものにも勝る最大

の金メダルであり、無上の喜びであった。そして、来

年二月七日から二十二日まで開催される長野オリンピックまで二カ月余り、日本選手団団長として、リレハンメルを上回るメダル数に挑戦し、日本国民に感動を与えたいと願っている。

(東京美装興業(株)代表取締役会長、日本オリンピック委員会専務理事)

雄大な富士の輪郭がある。黎明の中、太陽が富士の肩より昇ってくる一瞬を想定し、時を待つ。車の中で三十分ぐらい仮眠し、あたりが白々し始めた頃、空を見上げた。すると

星空が無い。富士はと見ると雲の中。やがて雨も降り出した。改めて自然の大きさを知った。こんなことが、富士山を撮らせてもらいたいという心境を、逆に強く駆り立ててくれる。

自信に満ちた富士、微笑みの富士、暖かさのある富士、怒りの富士、悲しみの富士、そ



会員図鑑



●清原 裕幸 アベックス産業(株) 技術部統括課長



●杉田 紀生 (株)博美化学 業務主任

【科属】 エドマエ科イナセ属 【形態】 昭和二十三年生まれ。東京都出身、A型。技術部を陣頭指揮。営業もこなす百戦錬磨の熱血漢。自称「瞬間湯沸器の逆上型」そのまま、時にペランメー調でまくし立てるが、翌朝にはケロリ。男気溢れる行動派。 【習性】 大のコーヒー党。野球は巨人(長嶋ファン)、音楽はカントリー&ウエスタン。本人もウエスタンギターを弾く。通信販売も大好きで、目下、嫁さんの販売を待っている。

【科属】 ゲンダイ科ネッチュー属 【形態】 昭和四十年生まれ。静岡県御殿場市出身、A型。PCOのスケジュール作戦から業務までこなす中心的存在。内に秘めた闘志には定評。 【習性】 リュックペンソン監督の作品(ファイブエレメント、ニキータ、グランブルー、レオン等)が好き。映画ファンで、テレビゲームも得意。所有ソフト七十本以上。日常の買物はもっぱらコンビニという現代派。親は「早く嫁さんを」と熟望。

触角BOOK ヘップリムシの屁 ウイリアム・アゴスタ著 長野敬 他訳 青土社 2,200円

むしくいす

●出題 レポートの標題が虫に食われてしまいました。何と書いてあったのでしょうか。

地球環境

◆応募規定 ハガキまたはファクシミリで、答、住所、氏名、当社との関係を明記の上、ご応募ください。〒105 東京都港区芝2の23の4 アベックス産業(株)内・APEX CLUB宛 ファクシミリ番号 03-3455-6558 *なお、2月からの新しい郵便番号は「105-0014」です。締切りは平成10年3月31日(当日消印有効) 正解の中から抽選で3名様に素敵な記念品を差し上げます。 ★前号の正解と当選者 正解は『にほんむかしばなし』。問題が難しかったためか、正解者はたった1名。山口秋子様のみが当選でした。